

第7期方針書

革新テーマ

「冷凍変性の無い冷凍野菜をめざして」商品開発を行う

「スチームベジ」低温スチームブランチング製品を一般品の価格で販売する

廉価で美味しい一般和惣菜を製造販売する

事業を取巻く環境

- 1) 世の中が「全体主義的社会主義」の流れに向かっている。この社会主義化による不況がこれから始まる。第7期から第8期へと時代は企業や個人にとって益々厳しい経済環境になるだろう。ゼネコン系の倒産、地デジが始まる頃には新聞社やテレビ局も倒産が始まる。人件費の削減から、さらに大量解雇の時代がやってくる可能性が高い。
- 2) 価格競争は益々熾烈になる。
- 3) ディスカウントショップ、弁当屋、等の低価格戦略の企業は潰し合いが始まる。人々は外食を避け、内食に向かうため、ファミレスや居酒屋が倒産し始める。
- 4) リストラから独立する人も増えるが成功する人は20人に一人だろう。

基本方針

脇を締める

- 1) 質素勤勉を旨とする。余分な経費は使わない。

製品力を高める

- 1) 高い付加価値のある製品を開発する
- 2) 感動を与える商品とサービスを開発する
- 3) 汗を流し、物をつくり新製品を開発し続ける
- 4) 福建省に新工場を稼働させる

お客様の立場に立って考え行動する

- 1) 成果の要因は常に外部に存在する ユーザー様の直接情報を取る

- 2) 商品のトレーサビリティを通して安全性を確保する

集中主義で行動する

- 1) 当社はニッチでのみ成果をあげることが出来る
- 2) 取扱品目を絞り品数を減らし強い商品に集中する

常勝思考を持って全てに取り組む

- 1) 他社の失敗からも成功からも、自社の失敗からも成功からも全てを学び、何があっても絶対に前進する

今期事業の定義

我社の使命

- 1) 知的資産経営を基盤とし、安全で、美味しく、
便利な食品を通して多くの人々の豊かな健康生活に貢献する。
- 2) 愛・知・反省・発展の四正道を基に、失敗からも、成功からも、全てを学び尽くし、
高付加価値企業を練り上げる。
- 3) 何が本当か。何が正しいのかを探求し、健全な経営を通して、社会と国家に貢献する。

我社の強み

- 1) 自社工場を持たない食品メーカーである
- 2) 冷凍野菜その物の品質を追及している 生鮮野菜の代用が冷凍野菜ではない
- 3) 知的資産経営を目指し、知的財産の創造に取り組、知的財産や製造ノウハウを蓄積している

製品特許を2件持っている

切干大根 特許第4045583号

薩摩芋 特許第4403466号

- 4) 製造に勝美グループの原料栽培と工場を要している

我社の弱み

1) 食品メーカーとして限界生産者である

事業構造

- | | | | | |
|-------------------|----|-------|----|----|
| 1) 冷凍野菜・農産加工品メーカー | 栽培 | 製造 | 輸入 | 販売 |
| 2) 国内OEM製品 | 企画 | OEM製造 | 販売 | |
| 3) 特許ライセンス販売 | | | | |

商品方針

1) 独自の製品(他社に無い商品)に集中する

冷凍大根 特許出願中 出願予定 特許製品	品揃え強化	冷凍水煮大根	
		冷凍水煮大早煮タイプ	
		冷凍水煮大レトルト用	
		冷凍蒸し大根	
		冷凍下味付大根	
冷凍薩摩芋 特許製品	2品種	べにあずま	インドネシア産
	3規格	きんとき(高系14号)	中国産
		スライス	
		ダイス 乱切	
メンマ	短冊	食感(柔らかさ)と簡便調理が特徴	
里芋	自然形	自然形に集中し丸型は扱わない	
長ネギ	斜切	他社にないカット規格	
れんこん	乱切	低温スチームブランチング	
ごぼう	乱切・千切		
人参	乱切		
にんにく	粒		
キャベツ(インドネシア)	5cm		
白菜(インドネシア)	5cm		

- 2) 感動を与える新製品を開発する
 - ナムル ぜんまいナムル・大根ナムルの品位を向上し安定させる
 - もやしナムルの開発
 - 和惣菜 切干大根の煮付け (特許出願中)
 - 大根と大豆の煮付け

- 3) 中国以外の製造拠点を構築する
 - インドネシアでの製造を徐々に拡大させる
 - 国産製造に取り組む にんにく天 ハニーレモンポテト 等

得意先方針

- 1) リピート客を大切にし長く取引が出来るように努力する
- 2) 新規販売ルートを開発する

